



答えはこちらから

山や崖、川や水路には

- ・大雨が降ったら
場所に身を寄せる
- ・地震が起ったら



防災

③必ず警察に通報し、学校にも連絡する。

②大きな声で

①すぐに

知らない人がついてきたり、連れていかれそうになったら...

誰もが入りやすく、誰からも見えにくい場所には

※自転車は「車の仲間」です。自分が「加害者」とならないように、

なるとか、日頃から考えておこう。

を忘れないために、こういう場面で自分の行動が危険なもの

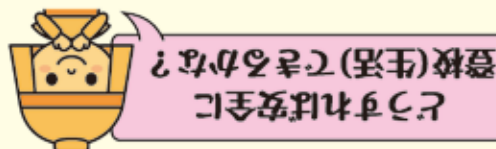
歩いているときだけでなく、自転車に乗っているときも



交通安全

3

自分の安全を守る方法を
身に付けよう！



どうすれば安全に

登校(生活)できるかな？

考えてみよう！～中学生のみなさんへ～

次のような状況の場合に、あなたはどのように行動しますか。

- 登校中に名前も顔も知らない大人に「君はどこの中学校の何年生？」と声を掛けられた。

- 学校の休み時間に、名札を身に付けていない名前も顔も知らない大人と廊下で対面した。

セーフティボランティアさん

通学路や校門のちかくで、みんなが安全に学校に通えるよう見守ってくれています。緑のベストや腕章が目印だよ。



「こども見守り中」の旗

みんなを見守ってくれている人が、街中にいることを知らせてくれています。たくさんの人に旗を掲示してもらえたら、地域の安全安心にもつながるね。



まとめると... 地震や大雨が発生したときに、状況が変わりやすい場所

大雨

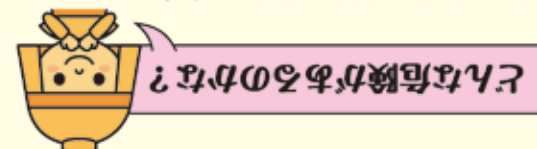
- ・河川敷や水路沿い
- ・崖の近く
- ・古く、手入れがなされていない住宅の側

まとめると... 誰もが「入りやすく」、誰からも「見えにくい」場所

- ・人通りの少ない道路やトンネル
- ・人気のなく、外から見えにくい公園や公衆トイレ
- ・落書きやゴミがそのままにされている場所
- ・空き家と思われる住宅

まとめると... 「飛び出し」が発生しやすい場所

- ・車と車の間
- ・歩道がない道路、お店や駐車場沿いの道路
- ・信号機のない横断歩道
- ・見通しが悪い交差点
- ・プロップや自動販売機、草木などがあり、



どんな危険があるのかな？

1 校区の危険箇所を知ろう

校区安全マップの使い方



防災



防犯



交通安全

校区安全マップ

高槻市立第一中学校



高槻市
はにたん

2 自分の校区を確認しよう



第一中学校



非常に交通量が多く、車の事故も多く発生している。カーブからやってくる車に要注意。



非常に交通量が多い。
スクランブル交差点になっているため、歩行者用の信号が青のときには、自転車には特に注意が必要。



非常に交通量が多い。
通勤や通学の時間帯には
歩行者や自転車、バイク
が多く通る。



非常に交通量が多い。
歩行者用の信号が青のとき
には、自転車には特に
注意が必要。



駅へ向かう人や駅から出てくる人で混み合い、自転車などがスピードを出して往来していることが多い。



大通りから入ったところで、人通りが少ない時間帯があり注意が必要。



歩道がせまく、歩行者と自転車のすれ違いには注意が必要。通勤や通学の時間帯は非常に混み合う。



三叉路になっており、
交通量も非常に多い。
道路にも勾配があり見通し
も悪い。



駅前の人通りが多く、タクシー、バスが頻繁に通る。交通量も非常に多い。



歩道橋の横のせまくなった
路地を自転車が通ること
がある。国道から車が
左折してくることもある。



非常に交通量が多い。
歩道の幅がせまいため、
自転車は自転車専用通路
を多く通るが、通勤や通学
の時間帯は非常に混み合う。



道路と道路に挟まれている部分であり、見通しが悪い
ため、角を曲がってくる車
に注意が必要である。



南に向けて急勾配の下り坂になっているため、自転車や車のスピードが出やすくなっている。



交差点で国道からの抜け道になり、交通量が多い。



道幅がせまく、角で死角になり車の巻き込み事故がおこりそうな場所となっている。



学校正門前。朝夕を中心に南北への車の通行が多い。



三叉路になっており、見通しが悪い上、車の通りも多い。



いろいろな人が集まりやすいため、不審者などに注意。



車の通りが多い。比較的
スピードも出ている。



道路幅の割に交通量が多く、車の通りが頻繁。



X	交番
ⓧ	警察署
〒	郵便局

地震発生時の避難場所（ ）